

平成26年名古屋港の港勢

平成26年(2014年)の名古屋港の港勢は、入港船舶隻数は前年実績を上回りましたが、入港船舶総トン数、総取扱貨物量は前年実績を下回りました。

1 入港船舶

入港船舶は、隻数が33,229隻(前年比1.9%増)、総トン数が2億3,188万トン(同0.6%減)と隻数は前年実績を上回りましたが、総トン数は前年実績を下回りました。

○ 外航船舶

外航船舶の入港隻数は、8,130隻(同3.5%減)、総トン数が1億9,247万トン(同1.0%減)とともに前年実績を下回りました。全体の5割近くを占めるコンテナ船においても、隻数で3,926隻(同5.5%減)、総トン数が8,854万トン(同2.8%減)とともに前年実績を下回りました。

○ 内航船舶

内航船舶の入港隻数は、25,099隻(同3.7%増)、総トン数が3,941万トン(同1.5%増)と隻数、総トン数ともに前年実績を上回りました。

2 海上出入貨物

平成26年の総取扱貨物量は、2億762万トン(前年比0.3%減)と3年連続で2億トンを突破し、平成14年から13年連続で全国1位になりました。

また、総取扱貨物量のうち外貿貨物取扱量については、1億3,818万トン(同1.7%減)と平成12年から15年連続で全国1位になりました。

○ 外貿貨物

輸出貨物量は、5,769万トン(同0.5%減)と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、自動車部品、産業機械といったこの地方で生産される代表的な品種が上がり、特に完成自動車、自動車部品の上位2品種で輸出全体の7割を占めています。国・地域別では1位中国628万トン、2位アラブ首長国480万トン、3位アメリカ447万トン、4位オマーン415万トン、5位サウジアラビア335万トンです。

輸入貨物量は、8,049万トン(同2.6%減)と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種には、LNG(液化天然ガス)、鉄鉱石、原油、石炭といった天然資源が上がり、輸入全体の6割近くを占めています。国・地域別では、1位オーストラリア1,412万トン、2位中国1,194万トン、3位カタール993万トン、4位アメリカ490万トン、5位サウジアラビア464万トンです。

○ 内貿貨物

移出貨物量は、3,776 万トン（前年比 8.1%増）と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、石油製品、鉄鋼、自動車部品、鋼材が占めました。移入貨物量は、3,167 万トン（同 3.1%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種には、完成自動車、鋼材、石油製品、セメント、化学薬品が占めました。

○ 外貿コンテナ貨物

外貿コンテナ貨物量は、4,860 万トン（同 0.9%増）、コンテナ個数は 257 万 TEU（同 1.5%増）と前年実績を上回りました。

輸出入別で見ると、輸出は 2,352 万トン（同 0.3%減）、輸入は 2,508 万トン（同 2.1%増）輸出は前年実績を下回りましたが輸入は前年実績を上回りました。

品種別では、輸出は自動車部品、産業機械、完成自動車、ゴム製品、その他化学工業品が上位を占め、輸入は衣服・身廻品・はきもの、自動車部品、家具装備品、輸送用容器、電気機械が上位を占めました。

国・地域別では、輸出は、1 位中国 504 万トン、2 位アメリカ 356 万トン、3 位タイ 176 万トン、4 位中国（香港）108 万トン、5 位台湾 102 万トンです。輸入は、1 位中国 1,107 万トン、2 位アメリカ 182 万トン、3 位中国（香港）157 万トン、4 位タイ 155 万トン、5 位韓国 125 万トンです。